

第 2 章

タイの経済地理統計データ

早川 和伸

キーワード：

タイ 経済 地理 データ

1. 地理的区分

タイは、77 県とバンコク首都府に分かれており、県はさらに郡に分かれる。2000 年以降の行政区分の変更として、BuengKan 県の誕生が挙げられる。2011 年 3 月 23 日、NongKhai 県内の 8 郡（BuengKan 郡、Seka 郡、So Phisai 郡、Bung Khla 郡、BuengKhong Long 郡、Pak Khat 郡、Phon Charoen 郡、Si Wilai 郡）を分離し、77 番目の県として BuengKan 県が誕生した（表 1）。

2. 産業分類

タイの産業分類は、ISIC に準拠している。例えば、後述する「The 2007 Industrial Census」では、ISIC Revision 3 の 4 桁レベルでデータが公表されている。

3. 人口センサス

タイにおいて人口センサスは 10 年ごとに行われており、2010 年対象のセンサスは 11 回目のセンサスとなる。2011 年現在は Preliminary バージョンが National Statistical Office より、「The 2010 Population and Housing Census」として発表されている。本センサスでは、群別、年齢別、学歴別、職位別などの人口数が報告されている。

表1 タイの都県と人口

地方	都県	人口2009 (千人)	地方	都県	人口2009 (千人)
Central	Ang Thong	285	North Eastern	Roi Et	1,308
	Bangkok	5,703		Sakon Nakhon	1,118
	Chachoengsao	669		Si Sa Ket	1,446
	Chai Nat	335		Surin	1,378
	Chanthaburi	511		Ubon Ratchathani	1,804
	Chonburi	1,290		Udon Thani	1,539
	Kanchanaburi	833	Northern	Yasothon	539
	Lopburi	754		Chiang Mai	1,633
	Nakhon Nayok	252		Chiang Rai	1,195
	Nakhon Pathom	851		Kamphaeng Phet	727
	Nonthaburi	1,078		Lampang	765
	Pathum Thani	956		Lamphun	405
	Phetchaburi	461		Mae Hong Son	242
	Phra Nakhon Si Ayutthaya	775		Nakhon Sawan	1,073
	Prachinburi	462		Nan	476
	Prachuap Khiri Khan	504		Phayao	487
	Ratchaburi	835		Phetchabun	995
	Rayong	612		Phichit	553
	Sa Kaeo	542		Phitsanulok	846
	Samut Prakan	1,164		Phrae	462
	Samut Sakhon	485		Sukhothai	603
	Samut Songkhram	194		Tak	520
	Saraburi	613		Uthai Thani	328
	Sing Buri	215	Southern	Uttaradit	463
	Suphan Buri	845		Chumphon	488
	Trat	220		Krabi	427
North Eastern	Amnat Charoen	371		Nakhon Si Thammarat	1,517
	Buri Ram	1,547		Narathiwat	728
	Chaiyaphum	1,125		Pattani	648
	Kalasin	980		Phang Nga	252
	Khon Kaen	1,762		Phatthalung	508
	Loei	621		Phuket	336
	Maha Sarakham	939		Ranong	182
	Mukdahan	338		Satun	293
	Nakhon Phanom	701		Songkhla	1,344
	Nakhon Ratchasima	2,571		Surat Thani	994
	Nong Bua Lamphu	501		Trang	619
	Nong Khai	907		Yala	480
	Bueng Kan*		タイ合計		33,808

*: 上述の通り、BuengKan 県は 2011 年に誕生した。

4. 地域別・産業別 GDP 入手可能性

県別の GDP は、「Gross Regional and Provincial Product」に報告されている。農業、鉱業、製造業、サービス業に分かれて報告されているが、農業はさらに 2 業種に、サービス業は 12 業種に分かれている。国レベルの GDP 同様、毎年公表されており、2010 年対象も暫定版が既に公表されている。

県別製造業 GDP について、細かい業種レベルの内訳は公表されていない。地方レベル (Central、North Eastern、Northern、Southern) での公表であるが、細かい業種レベルの付加価値額を入手するための統計として、National Statistical Office (NSO) による

「Industrial Census（工業センサス）」が役に立つ。1964 年、1997 年、2007 年（調査対象は前年）に行われている。2007 年調査では、ISIC Revision 3 の 4 桁レベルで、地方別付加価値額が公表されている。

5．経済地理データ作成の手順と課題

本研究会のデータセットでは、タイは県レベルでのデータを作成する。人口については、「The 2010 Population and Housing Census」を用いることで、県別人口数を入手することができる。農業、その他（製造業は含まない）の県別 GDP は、「Gross Regional and Provincial Product」から入手可能である。しかしながら、上述の通り、細かい製造業レベルの地域別 GDP は利用可能でないため、「The 2007 Industrial Census」を用いて、地方レベルの業種構成比を計算し、これをもとに地域別製造業 GDP を按分することで、対応する。

6．関連統計ソース

The 2010 Population and Housing Census

Gross Regional and Provincial Product

The 2007 Industrial Census